

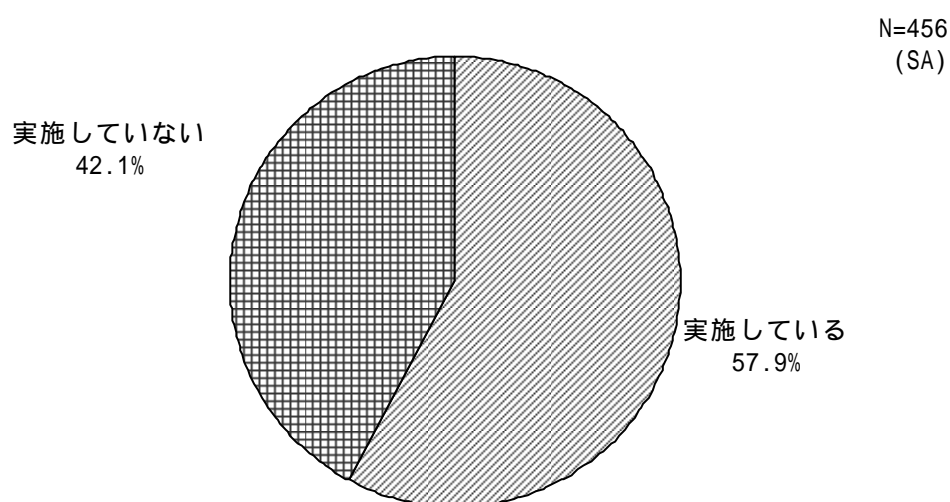
第4章 貿易の現状

1. 直接貿易の実態

現在、商社などを介さない、いわゆる直接貿易（輸出または輸入のいずれかのみを行っている企業も含む）を実施している企業は264社で、海外展開企業全体の約6割に上った。

直接貿易を行っている企業のうち、約3割は直接投資も行っている。直接投資実施企業の約4割も直接貿易を行っており、貿易と直接投資は必ずしも代替的ではないことがうかがえる。書類手続き上、または、物理的にも、海外の進出先で生産した製品を、一旦、日本を中継して第三国へ輸出している例もある。

図表4-1 直接貿易の実施状況

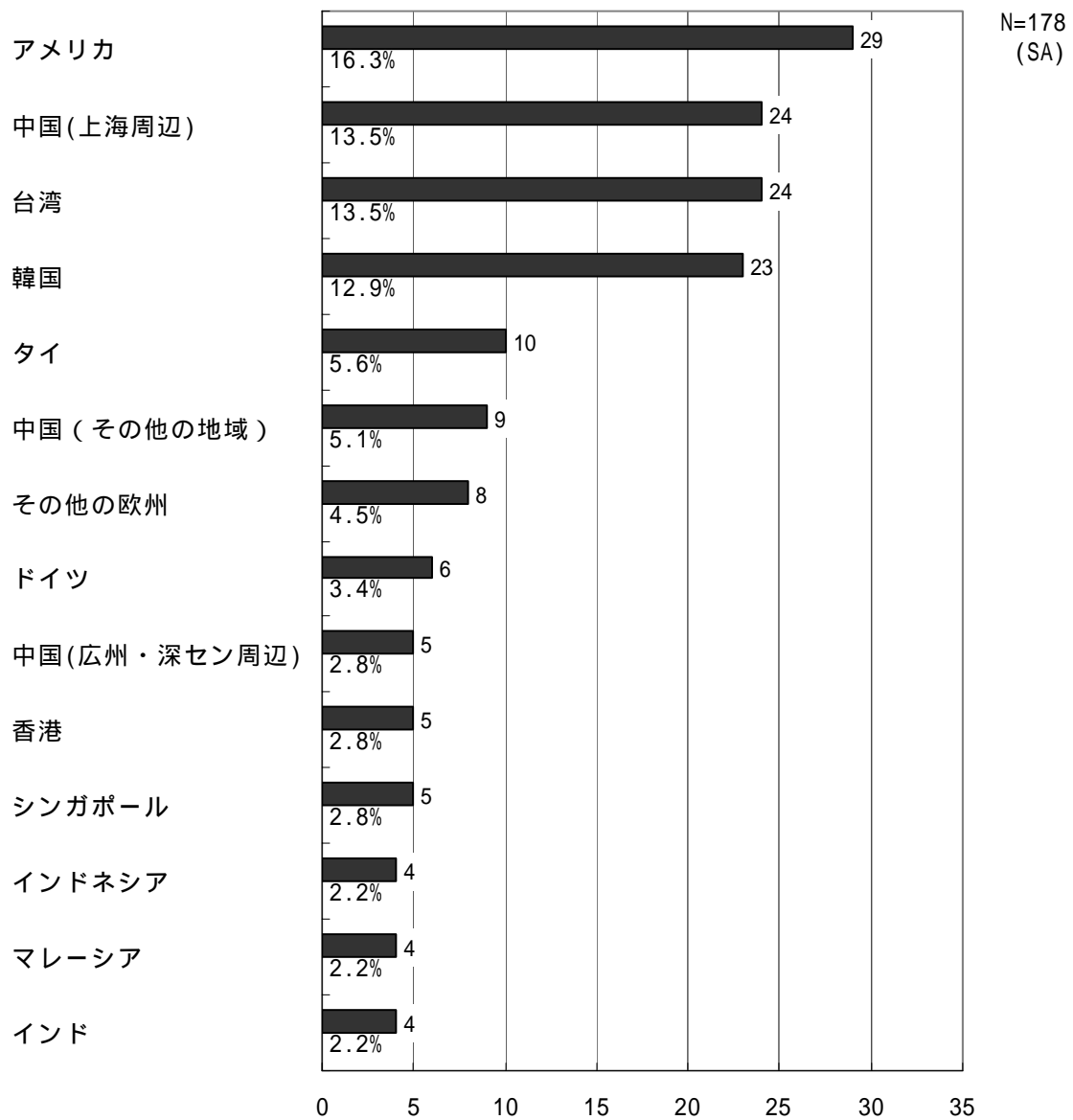


(1) 輸出

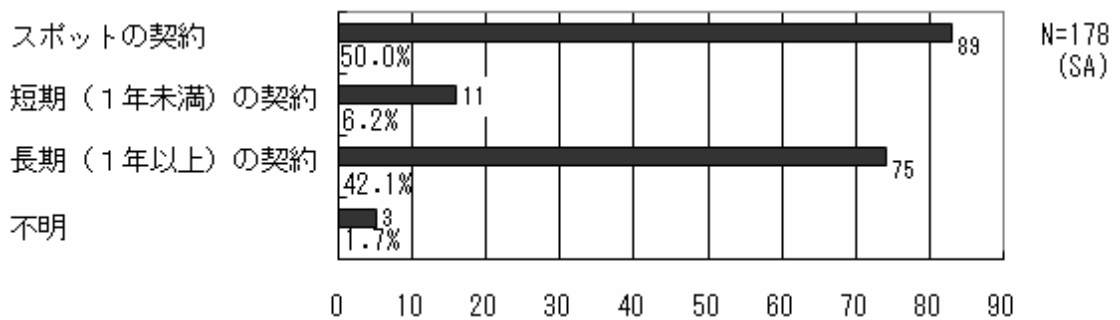
このうち、輸出を行っている企業は178社であった。最も主要な輸出の相手先の国別の件数は、アメリカ29件、中国（上海周辺）24件、台湾24件、韓国23件となっている。

取引形態は、スポットの契約が50.0%、長期（1年以上）の契約が42.1%、短期（1年未満）の契約が6.2%であった。

図表4 - 2 主要輸出相手先（直接貿易）



図表4 - 3 輸出の取引形態（直接貿易）

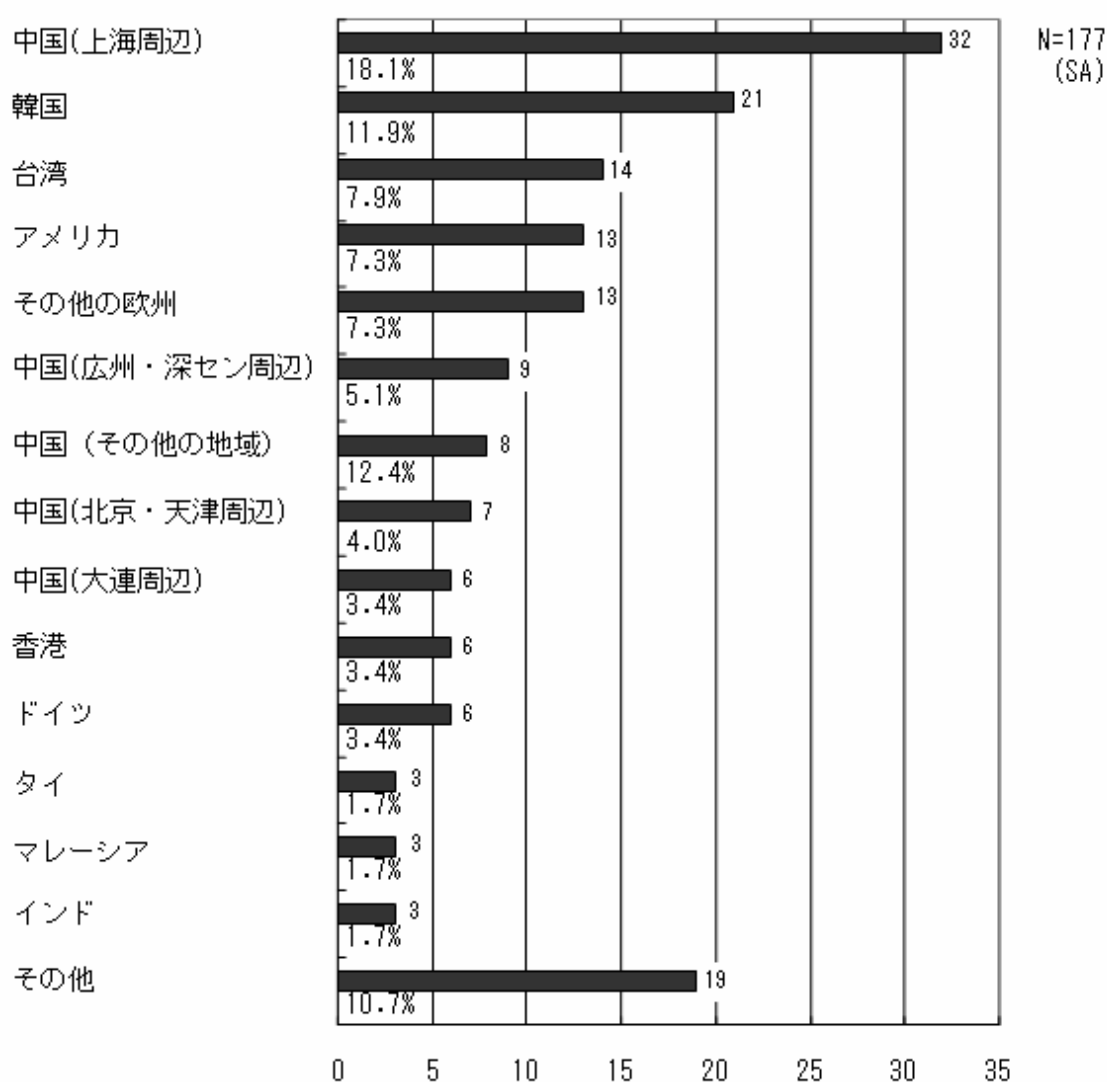


(2) 輸入

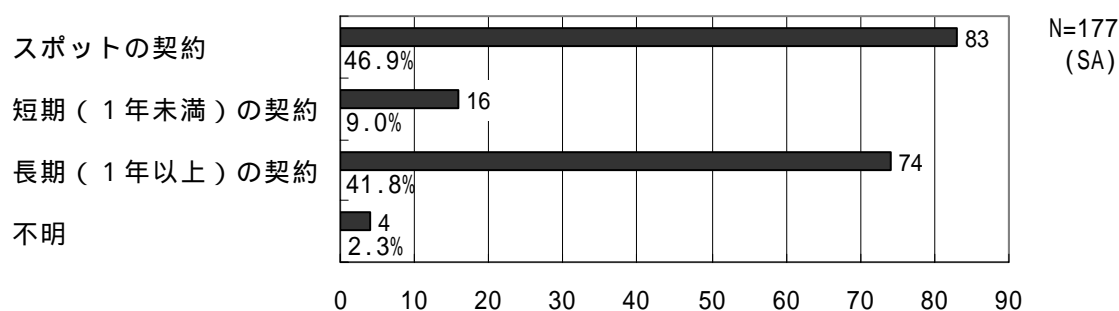
また、輸入を行っている企業は177社であった。相手先の国別の件数は、中国(上海周辺)32件、韓国21件、台湾14件であった。輸出と比較すると、相手国としてのアメリカの位置が相対的に低い。しかし、輸出入ともに中国、韓国、台湾、アメリカが大きな位置を占めていることは確かである。

取引形態は、スポットの契約が46.6%、長期(1年以上)の契約が41.6%、短期(1年未満)の契約が9.0%であった。

図表4-4 主要輸入相手先(直接貿易)



図表 4 - 5 輸入の取引形態（直接貿易）

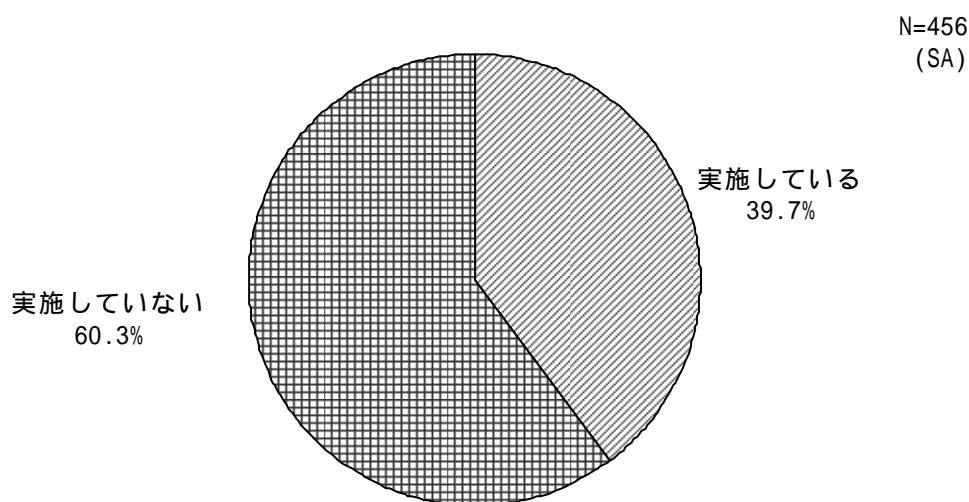


2 . 間接貿易の実態

一方、商社などを介した、いわゆる間接貿易（輸出または輸入のいずれかのみを行っている企業も含む）を実施している企業は 181 社で、海外展開企業全体の約 4 割であった。間接貿易を行っている企業のうちの約 3 割は直接投資も行っている。

貿易業務に多くの人手を割けないことや、地域によっては自社が直接手がけるのはリスクが大きいといった理由があるものと考えられる。

図表 4 - 6 間接貿易の実施状況

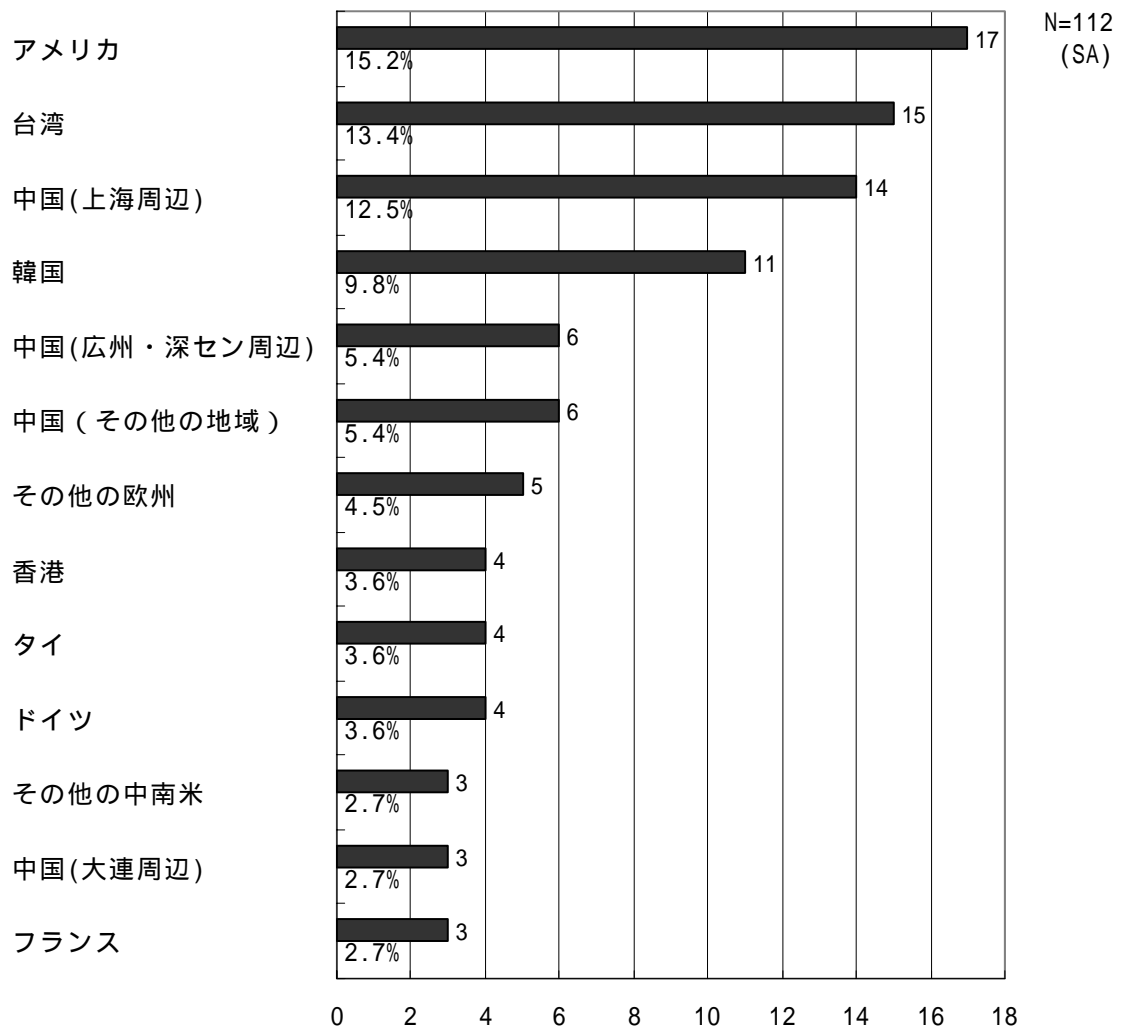


（1）輸出

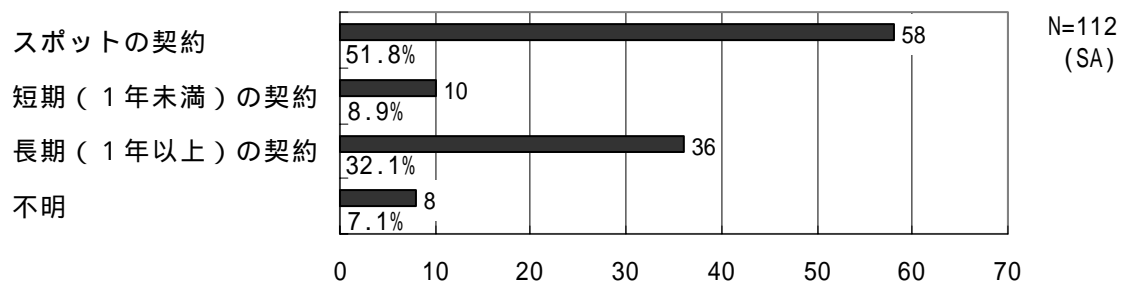
間接貿易を行っている企業のうち、輸出を行っている企業は 112 社である。最も主要な輸出の相手先の国別の件数は、アメリカ 17 件、台湾 15 件、中国（上海周辺）14 件、韓国 11 件である。直接輸出と比べると、アメリカの割合が高い。

取引形態は、スポットの契約が 51.8%、長期（1年以上）の契約が 32.1%、短期（1年未満）の契約が 8.9%であり、直接貿易に比べると若干、スポットの契約と短期の契約の割合が高い。

図表 4 - 6 主要輸出相手先（間接貿易）



図表 4 - 7 輸出の取引形態（間接貿易）

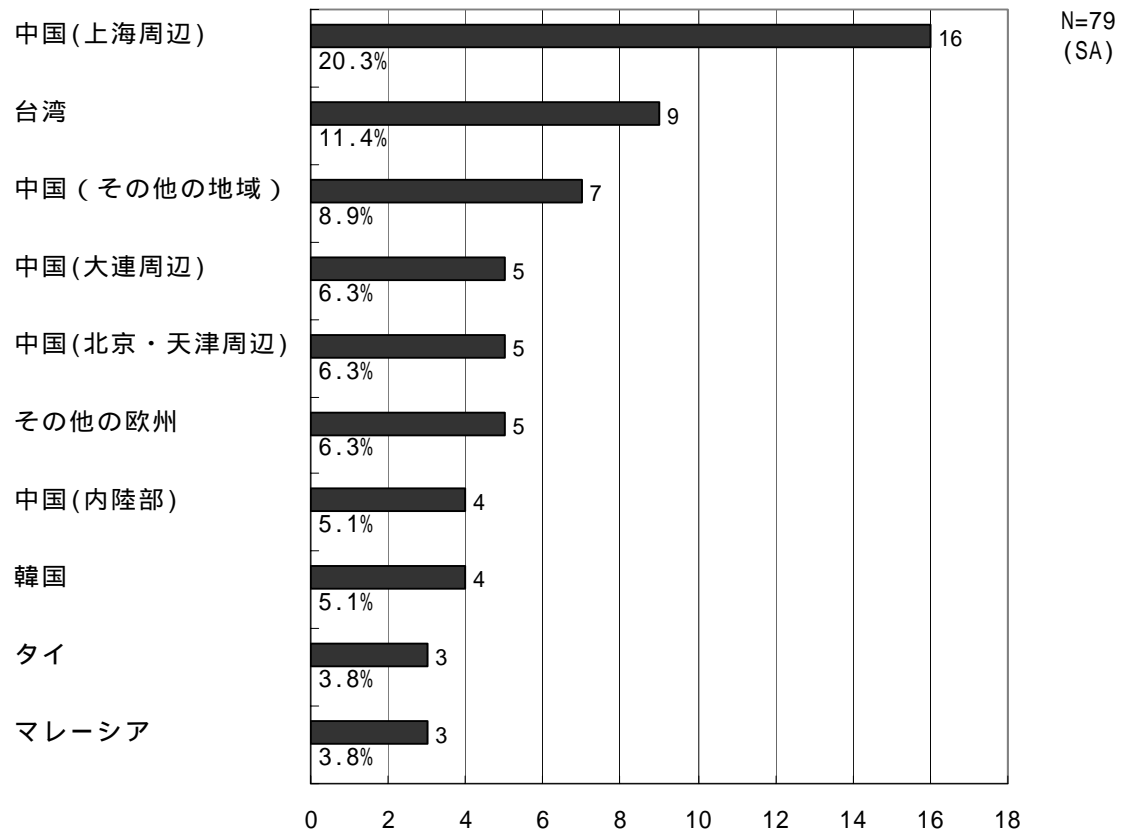


(2) 輸入

また、輸入を行っている企業は79社であった。相手先の国別の件数は、中国（上海周辺）16件、台湾9件、中国（その他の地域）7件であった。輸出と比較すると、アメリカ、韓国の位置が相対的に低い。

取引形態は、スポットの契約が39.2%、長期（1年以上）の契約が40.5%、短期（1年未満）の契約が15.2%であった。

図表4-8 主要輸入相手先（間接貿易）



図表4-9 輸入の取引形態（間接貿易）

